

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(7月分)について

2024年7月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	11,585,032	6,790,378	170.6%	16,853,881	68.7%
国内旅行	10,830,991	9,577,337	113.1%	9,490,459	114.1%
訪日旅行	281,399	170,143	165.4%	215,173	130.8%
合計	22,697,422	16,537,858	137.2%	26,559,513	85.5%

【概況】

7月の営業概況は、総取扱額226億9,742万2千円、前年同月比137.2%、2019年同月比では、85.5%となりました。

海外旅行は、7月の出国日本人数が2019年度比63.2%と前月から2ポイント増となったものの、2月の63.8%と同水準であり、市場の回復は停滞しています。

円安、燃油高が継続する中、当社では燃油サーチャージが不要のアジアのキャンペーン商品や需要が底堅い欧州、トルコの商品を中心に継続的に募集告知を行いました。その結果、トルコの取扱人数が2019年同月比で1.3倍となったほか、ベストシーズンのスイスやイタリアも伸長しました。アジアでは、韓国と台湾が引き続き堅調に推移し、ベトナムやタイも好転しました。

海外旅行全体では、2019年同月比68.7%となりましたが、前年同月比では170.6%となり、回復が進みつつあります。

国内旅行は、物価高を背景に節約志向が継続しましたが、夏休みを中心に消費者の旅行意欲は旺盛でした。

このような状況の中、当社では節約志向に対応する需要喚起型の廉価商品を投入したほか、夏休みの日帰りバスツアーやベストシーズンの北海道の募集告知を強化しました。その結果、旬の味覚を楽しむ日帰りバスツアーが集客を牽引し、行き先別では、中国地方が前年同月比2倍、東海が1.6倍となりました。北海道では、利尻島・礼文島ツアーや釧路、知床をめぐる自然を探勝する周遊型ツアーが好調に推移しました。

国内旅行の取扱高は、前年同月比113.1%、2019年同月比では114.1%となり、好調な結果となりました。

株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	2,554,898	2,347,507	108.8%	3,537,671	72.2%
国内旅行	218,137	238,792	91.4%	277,262	78.7%
訪日旅行	3,423	795	—	4,764	71.9%
合 計	2,776,458	2,587,095	107.3%	3,819,699	72.7%

※2019年同月取扱高は、阪神ラベル・インターナショナルの取扱高を合計し、2社内取引を相殺したものです。

【概況】

7月の営業概況は、総取扱額27億7,645万8千円、前年同月比107.3%、2019年同月比では72.7%となりました。

海外旅行は、インドやアジア方面が堅調に推移し、取扱高は前年同月比108.8%、2019年同月比72.2%となりました。

国内旅行は、業務出張の取扱いが伸長しましたが、企画旅行では、前年同時期に大型の団体旅行を受注した反動減もあり、取扱高は前年同月比91.4%、2019年同月比では、78.7%となりました。

グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	13,768,284	8,884,196	155.0%	20,376,243	67.6%
国内旅行	11,000,206	9,776,989	112.5%	9,661,312	113.9%
訪日旅行	284,822	170,938	166.6%	219,937	129.5%
合 計	25,053,312	18,832,123	133.0%	30,257,492	82.8%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724